

科目ナンバー	C4306	要件	教職必修	授業形態	演習	対象学生	I A B
授業科目	造形の基礎Ⅱ						
実施期	後期	単位数	1単位	授業担当者	筒井 通子		
【科目の概要】 幼児の造形教育に関する基礎的な技能や知識についての学びを深め、それらを生かした制作方法や幼児の成長とつがる活動への援助の仕方を学習する。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	制作活動を通して、様々な材料や素材の特性や用具の扱い方等を理解している。						1-d
イ	平面的な造形分野における造形表現を実技を通してできる。						2-d
ウ	幼児の造形教育に興味・関心をもつ。						4-d
【授業の内容】					【実施日】	【授業時間外学習の内容】	
1	オリエンテーション（造形の基礎Ⅱの目標や到達目標を知り、興味・関心をもたせる。）課題へのフィードバック				月 日	自分の課題を見つける。	
2	造形素材の特徴を生かした制作(1)「夢のたまご」新聞紙を使って 実技				月 日	「夢のたまご」のデザインを考える。(0.5時間)	
3	造形素材の特徴を生かした制作(2)「夢のたまご」和紙を使って 実技				月 日	身近な和紙を使った作品の鑑賞する。	
4	造形素材の特徴を生かした制作(3)「夢のたまご」装飾 実技				月 日	いろいろな素材を集める。	
5	造形素材の特徴を生かした制作(4) 展示用カード制作 実技				月 日	レタリングの練習をする。(0.5時間)	
6	描写表現で平面表現をする。(1) ポストカード制作 実技				月 日	描きたい材料を揃える。	
7	描写表現で平面表現をする。(2) ポスター制作 実技				月 日	知らせる内容の確認をする。	
8	描写表現で平面表現をする。(3) グループワーク 実技 (獲得を目指す力の確認)				月 日	保育実習に役立てる。	
9	造形表現「紙粘土を使って」立体表現をする。(1) 制作 実技				月 日	古い布きれの準備をする。	
10	造形表現「紙粘土を使って」立体表現をする。(2) 装飾 実技				月 日	お菓子の形や色の観察をする。	
11	描写表現で平面表現をする。「割り箸ペン」制作 描写 実技				月 日	カッターナイフで鉛筆を削る。(0.5時間)	
12	課題制作 (1) 生活に役立つ物の制作：デザイン 実技				月 日	前期の造形の基礎を振り返る。	
13	課題制作 (2) 生活に役立つ物の制作 着色 実技				月 日	習得した技法を生活に活用する。	
14	課題制作 (3) 生活に役立つ物の制作：仕上げ 実技				月 日	奈良をイメージした年賀状を描く。(1時間)	
15	鑑賞教育と鑑賞後の意見発表				月 日	造形作品を鑑賞する。	
16	振り返りとまとめ				月 日	自分で考えたイメージを生かして生活に役立つ物をつくる。	
【教科書・テキスト】 『新造形表現 実技編』 三晃書房編者 花篤 實・岡田 愨吾				【成績評価の方法】 造形作品・ファイルの整理状況など 70%、 授業態度 30%			
【参考書・教材】 適宜紹介							
【履修要件及び履修上の注意事項】 制作に必要な絵の具セット、色鉛筆、コンテ、パス、ハサミ、色紙等は、各自が準備し持参すること。実技をするにあたって、アイデアの収集に心掛けること。							
【履修上の遵守事項】 造形教室の備品等は大切に使用し、美化に努めること。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先：N8 筒井通子 研究室							
オフィスアワー：							

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア ①	和紙の特徴を生かした作品への着色と装飾についての知識・理解		和紙の特性を知ってちぎり、立体に貼ることができる。	和紙を生かした立体作品に着色ができる。	和紙の素材を生かした立体に装飾ができる。
ア ②	紙粘土の特徴を生かした制作についての知識・理解		紙粘土で立体的な制作ができる。	紙粘土に絵の具等を混ぜた着色ができる。	紙粘土で形や大きさ、色を考えた制作ができる。
イ ①	展示用カードの要点を理解した平面表現についての技能		展示用カードの描き方を知り、カードが描ける。	展示用カードを色彩豊かに描くことができる。	展示用カードに自分の考えたことが、相手に伝わるデザインで描くことができる。
イ ②	ポストカードやポスターに自分のイメージしたことを表現する技能		スケッチブックにイメージしたことが描ける。	イメージしたことを配置を考えて描ける。	自分の考えたことや事業の内容が、相手に伝わるデザインで描くことができる。
ウ ①	「造形の基礎」の学びから向上しようとする意欲		素材の特色を生かそうとする。	素材を生かした作品をつくることができる。	既習の基礎を生かした作品を、積極的に制作できる。
ウ ②	幼児の造形の基礎への関心と意欲		ミニレポートに、資料と同じ文書を書いている。	ミニレポートに、考えたこと、工夫したことなどを書いている。	ミニレポートに、自分で創造したことを書いている。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					